

編集後記

『現代インド研究』第2号をお届けすることができるのは、創刊号から編集に携わってきた者として、無上の喜びである。

本号の特集は、現代インドが直面する諸問題の一つである「暴力」をテーマに据え、多種多様な「暴力」の問題を様々な観点から分析してきた気鋭の研究者から寄稿を得ることができた。プロジェクトの最終目標でもある、新しい独自のインド像を提示するという課題に向けて、第1号特集論文と併せて活発な議論が喚起されることを期待したい。

創刊号の巻頭言および編集後記において説明されているように、本雑誌は、人間文化研究機構「現代インド地域研究」プロジェクトの初年度に創刊号が発刊され、かつ第2号の発行準備も並行してすすめられた。そのため、その編集作業は、学術雑誌としての位置づけなどの根幹部分から、投稿規程、表紙、ページレイアウトなどの細部にいたるまで、すべてを模索し、規定しつつ、より良き雑誌を目指して議論と修正を重ねるというものであった。編集委員という業務自体初体験であった私にとって、このように雑誌の立ち上げに参画することができたのは非常に貴重な経験であった。力不足の私を温かく見守りご助力くださった編集委員長はじめ、編集委員諸氏、編集委員会幹事、事務局各氏に心より御礼申し上げる。

第2号の発行をもって、私を含む半数の編集委員が交代することになる。職務を継続される委員諸氏と後任の諸学兄姉のもとで、本誌が一層成長していくであろうことを確信している。(S)